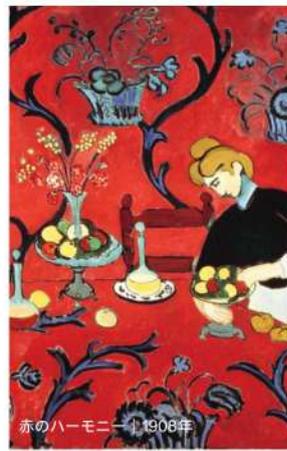


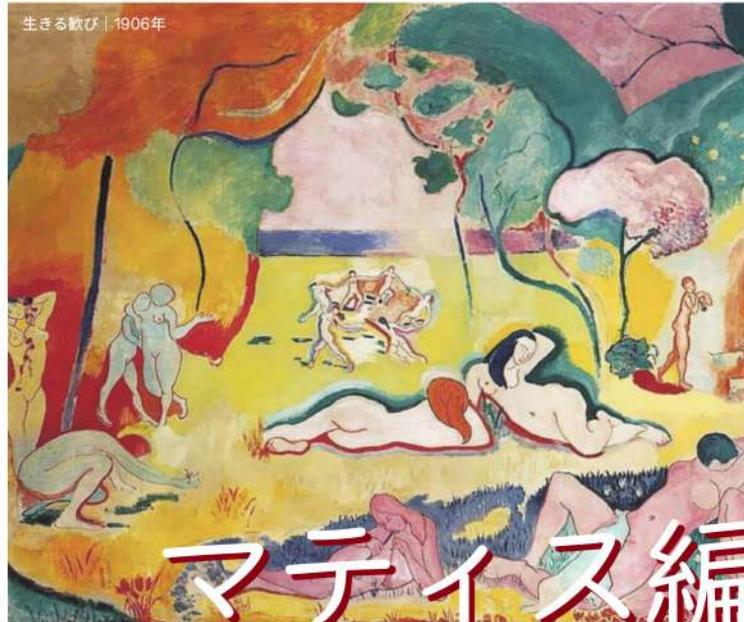
ダンス | 1910年



赤のハーモニー | 1908年



帽子の女 | 1905年



生きる歓び | 1906年



マチエス編

マチエス vs ピカソ 『ダンス』と『アヴィニヨンの娘たち』—色彩と解体の主導権

西洋美術史への扉

2026 3/7 (土) 14:00-15:15

本講座では、鮮やかな色彩で20世紀美術を切り開いた若き日のマチエスに焦点を当て、野獣派誕生の背景から《生きる歓び》《ダンス》《赤いアトリエ》などの代表作を通して、色彩による革新の歩みをわかりやすく解説する。さらに「マチエスVSピカソ」という視点で、色と形をめぐる二人の挑戦が近代美術をどう動かしたのかを読み解く。

費用：700円（現金のみ）

定員：54名

申込：2/17(火) 14:00から

下記のオンライン申込またはお電話より受付

TEL：03-3676-9071



講師：長谷川浩一

美術史研究者。秋田市出身。イギリス・ノッティンガム大学および大学院で美術史を専攻し、ヴェネツィア・ルネサンス美術を研究。ヨーロッパ各地を巡り、その街の空気や文化、歴史を感じながら美術史の研鑽を積む。クラシック・ロック・ジャズを愛し、F1やサッカーに熱狂する一方、自身のブログでは旅と文化をテーマに、アート、映画、音楽、本など、多彩なジャンルの魅力を発信している。

